

町政を問う

一般質問は、執行機関が提出した議案と関係なく、町の行政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し、見解を求めるものです。

吉岡町議会では、質問および答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

本会議の様子を生中継、
録画でも配信。



アクセス方法は

吉岡町議会

検索

■富岡 大志 議員（7ページ）

1. 小中学校の課題に関して
2. 地域の活性化に関して
3. 防災に関して

■小林 静弥 議員（8ページ）

1. 新型コロナウイルス感染症第8波について
2. 子育て支援について
3. 町民の安心安全について

■廣嶋 隆 議員（9ページ）

1. 渋川地区広域市町村圏振興整備組合最終処分場候補地選定について
2. 通学路の交通安全点検について
3. 上野田十字路の右折レーンと歩道設置について

■村越 哲夫 議員（10ページ）

1. 小・中学生について
2. 福祉対策について

■金谷 康弘 議員（11ページ）

1. 都市計画関連
2. 機構改革関連
3. 地域の課題
4. 町文化財関連
5. 町振興公社関連

■飯島 衛 議員（12ページ）

1. コロナ禍、物価高の中の支援に関して
2. 町役場のデジタル化の推進について
3. 地域の課題として
4. 特殊詐欺対策電話機の補助事業について
5. 駒寄インター西の産業団地計画の現状は

■山畑 祐男 議員（13ページ）

1. まちの未来について
2. 男女共同参画事業について
3. まちの農業政策について
4. まちの防災について
5. まちのコロナ感染症対策について

■飯塚 憲治 議員（14ページ）

1. 行政の諸施策の現状に関連して
2. 地域開発の施策推進に関連して

■坂田 一広 議員（15ページ）

1. 高齢者福祉について
2. 子どもの貧困について
3. 学校教育について

■小池 春雄 議員（16ページ）

1. ふるさと納税の増額
2. 子育て支援策
3. 高齢者福祉問題
4. カーボンニュートラルへの取り組み
5. スラグ問題



富岡 大志 議員 TOMIOKA TAISHI



録画映像は
こちらをCHECK

校則見直しホームページで公開を

答 校則見直し委員会で見直し公開

問 吉中で定められている生徒の約束・心得や生徒指導の決め事は、全て校則とみなして見直し、ホームページで公開を。

答 教育委員会事務局 長 吉中で立ち上げた校則見直し委員会で、生徒会本部役員からも見直したいとの意見が出た。この校則や校則以外の決まり事を含めた改正が、生徒が主役になり、生徒の考えがより一層尊重される学校への一助になつてほしいと考えている。委員会で見直された内容は吉中のホームページで公開される。

問 校則として定めている理由が明確でないものは削除すべきだという、生徒の意見についてはどう考えるか。

答 教育委員会事務局 局長 生徒の意見も校則見直し委員会の

中で尊重し、生徒・保護者・学校が、その意義や理由を納得した上で、新しい校則や決まりを作り上げていってほしいと考えている。

役場南公園に照明の設置を

問 役場南の「ふれあいやすらぎ公園」は夕方以降も散歩する人が少なくない。通路への照明設置で、防犯対策や役場周辺の賑わいの創出になり、ソーラー充電型照明なら災害対策にもなると考えるが。

答 建設課長 多くの人が散歩やジョギングなどで利用していると認識。南側遊歩道にソーラー充電型照明の設置を、災害時のスマホなどへの充電にも対応できるような施設で検討。

問 この公園は親水公園でもある。水遊

びができるよう、定期的な清掃をしてほしいが。

答 建設課長 渋川土木事務所との協定に基づき、河川内の雑木伐採の定期的な実施を検討。勤労者協和会の吉岡川の清掃活動に大変感謝。河川内の作業で、雑木などの繁茂で危険が伴うことも想定し、同会が活動しやすい状況を整える取り組みをしたい。

問 公園内を流れる吉岡川の泡立ちや臭いについては、原因の調査をしつかり行い改善する必要があるのでは。

答 住民課長 勤労者協和会による水質検査の数値は現時点で基準値内だが、時期により状況が変化すると話もあり、過去に臭気対策を行った事例もある。今後も庁内関係部署や勤労者協和会と連携し対応。



照明設置で防犯・災害対策となり「賑わいの創出」にもなる
(役場南のふれあいやすらぎ公園)

問 関係人口の拡大へ、地域おこし協力隊の積極的な活用を。

答 総務課長 地域振興の新たなきっかけづくりを呼び込む人材で、町にとっても非常に有益。可能性を探りたい。



録画映像は
こちらをCHECK

小林 静弥 議員 KOBAYASHI SHIZUYA

給食時の黙食 町の方角性は

【答】給食時間を楽しめるように準備を

問 令和4年11月29日に文部科学省が、黙食を求めないとする通知を出した。今後の町の方角性は。

答 教育長 学校の義務である子どもたちの健康・安全の確保の視点から総合的に判断して対応してきている。感染が落ち着いてきたと判断できる状況になったときに、子どもたちが会話を行うなどして給食の時間を楽しめるように、今から学校と連携して準備をしていきたいと考えている。

問 ワクチン接種について、町としてワクチン接種者と陽性者の関係は分析されているか。

答 健康づくり室長 町民のワクチン接種者については把握しているが、感染者については、個人情報や県の全件把握の見直しな

どにより、町内の感染者の把握ができない状況。

「子育てするなら吉岡町」の充実を

問 子どもたちの居場所や、子育ての問題解決に関わる制度や助成が、より充実されることが「子育てするなら吉岡町」に対する満足度の充実をはかることではないかと思うが。

答 子育て支援室長 学童ニーズの高まりに合わせて施設整備などを行っている。子どもたちの居場所づくりは、児童館や子育て支援センターなどの利用、さらに、子ども食堂などを実施している自治会やボランティア団体などに対して、他の事業とも連携・共同し、団体への支援につ

いて検討したい。

問 吉岡町児童館の企画の際に、ファミリーサポートセンター登録受付窓口設置の試みがあったとのこと。その経緯と今後は。

答 子育て支援室長 令和4年11月29日、子育て世帯が多く集まる児童館のイベント終了後にしゅかわファミリーサポートセンター職員の出張方式で、事業活用の啓発や登録受付を行った。実際の登録は2人。今後継続して渋川広域圏で実施し、事業の普及啓発活動に努めたい。

問 町内の集会所などにある公園に設置

されている遊具の点検が年1回とのことだが、子どもたちの安心・安全のために定期的な保守点検をもっと増やせないか。

答 子育て支援室長 国土交通省が定める「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づき年1回の定期点検を実施している。また、この点検結果で修理・修繕、安全基準に満たない遊具については撤去を実施している。今後も、国が示した指針に基づき年1回の定期点検を実施していく予定。



コロナ禍で、静かな給食の時間が当たり前に（明小6年生）



廣嶋 隆 議員 HIROSHIMA TAKASHI

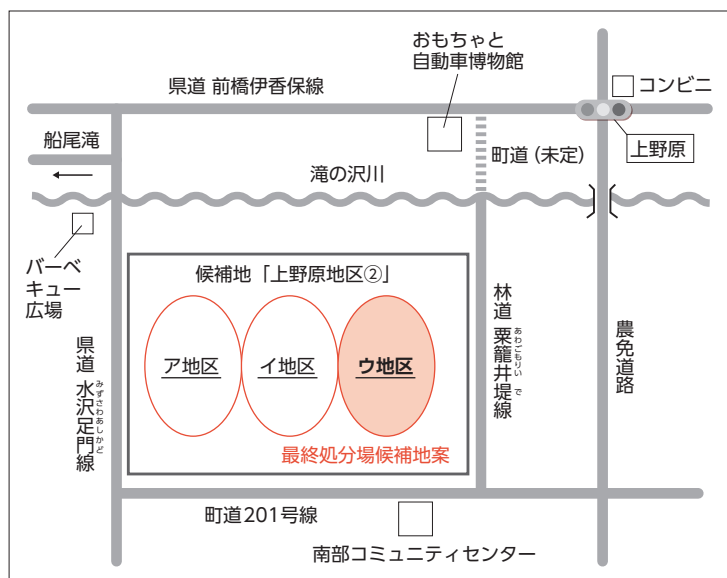


録画映像は
こちらをCHECK

広域が選んだ候補地が妥当な理由は

答 総合的検討の結果妥当と判断

- 問** 広域組合が絞り込んだ候補地（ウ地区）を、町が妥当と判断した理由は。
- 答** 町長 広域組合が検討した地区において改めて評価を行い、町は総合的に検討を行った結果、妥当であると判断した。
- 問** 概算費用44億円の根拠は。
- 答** 住民課長 内訳は、用地買収などに1億円、測量や地質調査などに1億円、基本設計や建設費などに約42億円。実際の費用は、今後の各種設計などで明らかになる。
- 問** 上野原地区内の商店への説明はしたか。
- 答** 住民課長 県道前橋伊香保線の沿線にある商店に対する説明はしていない。今後、広域組合で対応すると考える。



最終処分場候補地案の概略図

- 問** エコ小野上処分場で、底面部の遮水シートには自己修復材が使われているが、法面部には自己修復材が使われていない理由は。
- 答** 住民課長 法面部は垂直に近い角度になつていて、圧力もそれほどかからず遮水シートの表面に50cmの厚さの保護土も敷設することから不要と判断した。
- 問** 今後の地元対策は。
- 答** 住民課長 町では次期最終処分場候補地案を決定し、上野原地区に対して、地区の同意をお願いしている段階。環境悪化などの不利益を受けないよう、広域組合と連携してしっかり対応していきたい。

通学路の合同点検は実施したか

答 明小・駒小・吉中とも実施した

- 問** 千葉県八街市で発生した交通事故を受けて、通学路における合同点検を実施したのか。
- 答** 町長 令和3年3月に発生した痛ましい事故を契機とし、同年9月に明小・駒小と吉中も同時に緊急合同点検を実施した。
- 問** 令和3年度に指摘された危険箇所数と、改善された数は。
- 答** 建設課長 指摘数は、明小12・駒小6・吉中7の合計25カ所。改善数は、明小7・駒小4・吉中4の合計15カ所。未改善10カ所は、継続して改善へ進めている。

- 問** 上野田十字路右折レーンと歩道設置について、要望書提出から4年過ぎたが、経過説明を。
- 答** 町長 観光主要ルートのため、渋滞が頻繁に発生する交通量の多い県道。上野田交差点の道路改良事業の必要性は強く感じている。
- 問** 建設課長 令和3年5月に県渋川土木事務所との意見交換会では、令和4年度に向けて調査費の要求をしたが、予算措置はされていない。令和4年10月の協議では検討するとのこと。



録画映像は
こちらをCHECK

村越 哲夫 議員 MURAKOSHI TETSUO

手上げ横断 学校での指導は

【答】全校児童に交通安全教室を実施

問

「交通の方法に関する教則」の改正で、歩行者自らが安全確保を促し、歩行中の事故を減らすのが狙いで、手上げ横断が43年ぶりに復活とのことだが、町内の学校ではどのような指導を行っているのか。

答

教育委員会事務局 長 小学校では年度が始まってすぐに、新1年生に交通安全教室を実施した。徒歩での登下校について、渋川警察署の警察官から指導を受けた。5月には全校児童に交通安全教室を実施。また下校時において、教職員がパトロールを行い、交通安全に係る下校指導を行っている。

問

学校の防災水準について、町ではどのようなことが学校の防災水準を達成したと考えるのか。

答

教育委員会事務局 長 文部科学省総合教育政策局より発出した「自然災害に対する学校防災体制の強化及び実践的な防災教育の推進について」の通知があった。町では、令和元年以前から各学校で、実践的な避難訓練の実施や地震・台風・水害・土砂崩れなどが記載された「学校危機管理マニュアル」を策定。防災部局とも連携し、学校の防災面での取り組みをし、このような状況を考慮し「求められる水準をおおむね達成した」と考える。

問

不登校児童・生徒の調査について、町の小・中学校でどのくらいいるのか。

答

教育委員会事務局 長 令和3年度の年間欠席日数30日以上の児童・生徒は、小学校で17人、中学校で27人。

問

中学生には、スマートフォンを手にしながらの自転車運転についてどのように指導をしているのか。

答

教育委員会事務局 長 「自転車に乗ることは他人に危害を及ぼす可能性がある」ということなど自転車の安全運転も含めた、交通安全に対する意識付けを図っている。

問

生理用品を、購入できない「生理の貧困」への支援は。

答

教育委員会事務局 長 町では、令和4年度から就学援助対象世帯に対し、小学4年生以上の対象児童・生徒1人当たり5千円を限度に支給する制度を始めた。現状、中学校では生理用品を保健室で配布し、必要な場合、遠慮なく保健室で取得できるよう、周知・指導を図っている。

問

保育施設での使用済み紙オムツを各園で処分はできないか。

答

保育施設での使用済み紙オムツを各園で処分はできない。子育て支援室長 排泄物のみを捨て、オムツは保護者が持ち帰っている。また、園（施設）の意向・状況によって保護者の意見を伺いながら処分方法を検討していく。

【答】保護者が持ち帰る

使用済み紙オムツの処分は



明小新1年生対象の交通安全教室



金谷 康弘 議員

KANAYA YASUHIRO



録画映像は
こちらをCHECK

発展する吉岡 新駅は尚早か好機か

答 今後の機運の醸成を期待する

問 幹線道路の整備が進み、来春には大型商業施設が続々オープンし、発展する吉岡町で新駅があればどんなに魅力ある町か、将来を見据え新駅の産声は、時期尚早か好機か。

答 町長 技術上の問題以外は厳しい状況、現時点では長期的課題。ただ住民から多くの要望があるため、今後の機運の醸成を期待。まちづくりの観点で、可能性を探ることも2つの核づくりの選択の1つ。

問 新駅設置に関し、平成27年にJR東日本と協議した結果、クリアした技術上の問題点とは。

答 企画財政課長 停車場内の勾配制限5%以下、最小曲線半径800m以上および駅舎間距離。

問 当時の新駅設置に、クリアできない点

は。

答 企画財政課長 新需要者数が収入の面から厳しい。地元負担でインシヤルコスト21億3000万円、ラニンングコスト年間1700万円。住民アンケートでは、「財政負担を伴っても新駅設置を」が3割、「そう思わない」

が5割。
問 その他マスタープラン策定にあたり新駅についての記述は。

答 企画財政課長 新駅はまちづくりの観点から欲しい施設だが、長期的視野での検討課題。よってプラン策定にあたり新駅設置を前提としないと記述。

問 来春大型商業施設の開店後落ち着き始めた夏ごろ、車の流れ・人の動線・駒寄スマーティークの利用状況、混雑に対する住民の苦情などの調査と共に新駅に対する町民の意識調査を。

答 企画財政課長 できるような形であれば、そのような形で進めていければと考える。

問 企業誘致の現在の進捗状況は。

不動尊東斜面崖の安全性確保は

答 森林事務所と協議

問 川原田山不動尊の東斜面崖、崩壊の危険性について、一向に整備が進まないが。

答 町長 昭和57・58年に工事が実施、平成24年の施工箇所の点検で不良は確認されていないが、急斜面に

問 樹木の根が露出している。森林事務所と協議。当時の工事は崖下の方で、不動尊の安全対策にはなっていないが。

答 町長 森林事務所と安全について確認したい。

答 産業観光課長 令和4年12月中に土地所有者のアンケート調査をしたい。

問 前橋市の状況は。

答 産業観光課長 用地買収を開始。前橋市と覚書を交わし、一緒に進める話はどうなったのか。

答 産業観光課長 前橋市はかなり先行しているため、情報共有や調整協議が必要。